

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 地域包括支援センター		
予算科目	会計	23	介護保険特別会計
	款	03	地域支援事業
	項	02	包括的支援事業・任意事業費
	目	01	包括的支援事業

事業名	認知症施策推進事業	事業開始年度	平成 26 年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	地域支援事業実施要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	高齢者	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	事業の企画・運営・評価、関係機関との連絡・調整	佐伯地区医師会 五師士会 看護協会等	事業実施

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

平成27年度からの介護保険制度改正により、認知症関連事業が地域支援事業として位置づけられ、平成30年4月までには全ての市で実施することとなっている。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援するため、認知症地域支援推進員を設置し、認知症対策の強化を図る。

事業内容
認知症地域支援推進員の設置

認知症の介護や医療における専門的知識及び経験を有する者として市が認めた者を、地域包括支援センターに設置し、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や相談業務等を行う。

【歳入】 国 39.0% 県 19.5% 市 19.5% 1号保険料 22%

【歳出】 2,467 千円
職員報酬 1,932千円 費用弁償 99千円 社会保険料等（委員等報酬分） 336千円
需用費 100千円

コスト情報（円）

		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A			2,467,000	
	国庫支出金			962,000	
	県支出金			481,000	
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)			481,000	
	市（市税など）			543,000	
人件費(按分) B		人	人	0.80 人	
				6,919,200	
総事業費(A+B)				9,386,200	
ト換算	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり			80	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考	
活動成果	認知症チーム・地域支援推進員相談延件	件			180		
	包括認知症相談支援延件数	件	1,365		1,450		
	在宅サービスを利用する人の割合	%	81.53		82.10		